令 和 6 年 度 事 業 報 告

自 令和　6年　4月　1日
至 令和　7年　3月３１日

Ⅰ　会員の状況

会 員 数　　期首　２１
　　期末　２１

Ⅱ　役員・職員の状況

役員　　９名
　理事　　７名　（会長１名、副会長１名、専務理事１名を含む）
　監事　　２名
職員　　２名　（事務員２名）

Ⅲ　主な事業概要

１．バス活性化(利用促進)対策事業について

（1）「バスどこ大分」、「バスなび大分」及び「バス停大分」の運営

パソコン及び携帯電話からインターネットを介し、県内路線バスのダイヤ情報、経路検察、地域情報等のバス情報等提供システムの運営（委託事業）しており「バスどこ大分」が年間約１０５万件、「バスなび大分」２．８万件のアクセスがあり、多数の利用者に活用されている。

また、「バス停大分」は、大分県内のバス会社のバス停のバリアフリー化の状況をパソコンや携帯電話で調べることができるシステムの運営（委託業務）をしており年間約５．８万件のアクセスがあり、利用者に活用されている。

（2）「大分県オープンデータ」への情報公開

乗合バス運行情報を「標準的なバス情報フォーマット」の形式で整備、公開し、路線バスの運行情報について地図アプリや経路検索サイトなどの多様なサービスへの繋栄を図り、利用者の増加に繋げた。

（3）バスの日（９月２０日）諸活動

バスの日の広報としてラジオ特番（９／２０バスの日特集）及びテレビＣＭを行った。また、バスへの親しみと関心を深めてもらうことを目的に県教育委員会等の後援をいただき、「のってみたいな！こんなバス」をテーマに大分県内小学生対象に絵画コンクールを実施。（応募作品：県下８５校３８９点）

９月１４日ＯＢＳ大分放送にて表彰式（入賞者１３名）を行った。また、最優秀賞作品はバス３台にラッピングし、令和６年度末まで運行。

（4）観光旅行客利便性向上のための観光情報ＰＲ事業（大分県タクシー協会共同事業）

令和６年度地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用事業助成金を受け、大分県が作成している観光情報サイトに繋がる「ＱＲコード」付きのポスター

を作成。空港バスや一般乗合・高速・貸切バスに掲載し、来県者及び大分県民に公共交通機関、貸切バス利用での県内観光地巡りを図った。

２．労働問題（運転者不足）への対応

（１）大分県自動車運送事業者乗務員確保対策事業

大分県より一般乗合旅客自動車運送事業者を対象とした補助金をうけ、下記の交付を行った。

大型二種免許取得支援	５社	１０人	１，４５９，０００円
特例教習受講支援	２社	２人	１６３，０００円
乗務員採用活動支援	４社		１，０２７，０００円

（２）バス運転士募集おおいた２０２４

大分自動車学校にて会社説明会及びバス運転体験会を１０月２７日実施。参加者８名。なお、事業費用の一部は、日本バス協会から「運転者人材確保のための取組事例に対する助成」をうけた。

（３）自衛官向けバス会社説明会及び運転体験会（後援：大分運輸支局）

自衛隊大分地方協力本部と共同で、退官後の再就職先としてバス運転士を選択肢に持ってもらう為に、バス運転士の仕事内容・バス運転体験を１０月１８日 大分交通(株)別府営業所で実施。　　参加者２２人

（４）公共交通機関維持確保のための運転士確保事業（大分県タクシー協会共同事業）

令和６年度地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用事業助成金（申請：大分県タクシー協会）をうけ、業界のみならず、多くの関係者とも連携・協力しながら、ＨＰ、新聞広告、フリーペーパーやポスター、チラシなどを活用して、運転士の仕事内容・イメージアップ、常に運転士を募集中であることを幅広く広報し、合同企業説明会を実施した。

１２月８日　大分市コンパルホール　　参加者１０人
３月１日　中津文化会館　　参加者　２人

（５）女性乗務員活躍促進業務「女性ドライバー活躍セミナー」

８月２６日の合同委員会の開催時に大分合同新聞社主催により「大分県女性ドライバー活躍セミナー」をしずてつジャストライン株式会社より講師を招き開催。

（６）ＯＡＢ　ＪＩＭＯＴＴ！フェスタ（ＪＲ大分駅前広場）会場にて乗合バス運転士募集案内及び県内の女性運転士を紹介する冊子（大分県作成）を配布した。

３．各種交通輸送関係協議会への参画

大分県地域公共交通活性化協議会　／　大分県交通渋滞対策協議会
大分県交通安全推進協議会　／　大分都市広域圏ビジョン会議
大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会
大分県内各市町地域公共交通会議等

４．貸切バスの諸問題対策の推進

（１）貸切バス事業者安全評価認定制度について、県の教育委員会等へ安全評価認定事業者を積極的利用していただくよう要望すると共に貸切バス事業者安全評価認定事業者の訪問審査を行った。

県内協会員（2025 年 3 月 31 現在）３ツ星 10 社、２ツ星３社、１ツ星３社

（２）大分市要町貸切バス駐車場予約管理業務委託(収益事業)について

待機場使用許可事業所　２４０社

予約件数　４，８２２件、利用件数　４，３３５件

５．貸切バスの適正化事業について

令和３年度より「九州貸切バス適正化センター」から委託を受け、今年度は、県内全２７営業所中１３営業所に巡回指導を行った。

６．運輸事業振興助成補助金事業について

令和６年度補助金として、大分県より１１，４３６，０００円の交付を受け、安全運行対策事業、輸送施設整備事業、輸送サービス改善事業について、共同事業及び各会員事業者への助成事業を実施し、バス利用者への利便の向上に努めた。

助成事業

ＩＰ無線機 2 台 ／ 巻込み確認カメラ 1 式 ／ バス停上屋 1 式

バス停標識 14 基 ／ バス停丸板 16 枚 ／ 電子案内板 1 式 ／ 運賃箱 1 台

車載用除菌器 2 台 ／　乗車券販売券売機 2 台

また、日本バス協会のバス輸送改善推進事業として、次のとおり会員事業者が助成を受けた。

・人と環境にやさしいバス

電気バス	１両	（　　３００千円）
軽減ブレーキ	９両	（　　９００千円）
ノンステップバス	７両	（２，１００千円）
リフト付きバス	１両	（　　５００千円）
低床スロープ付きバス	２両	（　　２００千円）

・地方路線バス及び貸切バス　２０両　（１，０００千円）

・バス運転者の大型二種取得養成助成　　5名　（２５０千円）

７．安全輸送対策事業について

（１）春・秋の全国交通安全運動、夏のおおいた事故ゼロ運動及び年末・年始の輸送等に関する安全総点検運動と併行した第６２回バス無事故運動を通じ、バス事業に携わる従業員の安全運転の意識高揚と運行管理体制の強化を図った。

また、事故防止対策委員会を開催（12 月 2 日）し、会員間で事故防止・事故抑止への一致団結、情報共有を行った。

（２）バス事故の３割を占める車内事故の防止を図るため、日本バス協会では７月を「バス車内事故防止キャンペーン」月間として、全国的に防止対策の推進を行っていますが、当協会においても利用者への啓発活動として、主要バス停、

ターミナル、バス車内でのポスターの掲示等のほか、県下主要市町に市報等広報誌への掲載の依頼を行い、６市１町でご協力を戴いた。

（３）交付金事業による運転者の適性診断（252 名）、運行管理者講習（109 名）、安全マネジメント関係講習（17 名）、睡眠時無呼吸症候群（138 名）、脳ドック検査（111 名）等安全輸送対策の強化に努めた。

８．表彰関係

令和　６年　６月　１日　日本バス協会長から観光バスガイド褒賞１名が表彰

令和　６年１０月２８日　九州運輸局長から自動車関係功労者として事業役員２名、従業員２名が表彰

令和　６年１２月　１日　日本バス協会長から優良バス運転者６名が表彰

令和　６年１２月　１日　大分県バス協会長から優良従業員４名、永年勤続運転者３名が表彰

令和　７年　１月２２日　大分県警察本部から当協会に「交通事故抑止 感謝状」

９．広報活動

（１）バスの日を利用しての広報事業

ラジオ特番　９月２０日（金）ＯＢＳ大分放送

「えとう窓口のエンジン全開！」